

最低賃金大幅引上げで 誰もが生活出来る賃金を！

7月29日、大阪労連は、大阪労働局前でヤマ場を迎える大阪地方最低賃金審議会総会に向けて、昼休み宣伝行動、意見陳述者激励集会など「最賃引上げアピール＆座り込み行動」を行いました。

総会での意見陳述では、全印総連の阿野書記長が「4月に最賃生活体験にチャレンジしました。大阪府の最低賃金時価992円で1か月の賃金17万2409円と、租税公課を差し引いた13万7900円、そこから家賃分を4万円引



▲労働局前で座り込み行動をする参加者
▶意見陳述を行った全印総連阿野書記長



き、生活費を9万7900円に設定しました。結果は6万円も赤字でした。食費も普段より気を使えるだけ自炊、社員食堂が安いために毎日それで昼食代をおさえることができましたがそれでも足りません。今年の最賃体験の参加者が11人、そのうち8人が赤字でした。感想では「以前最賃体験した時よりも100円以上最賃が上がっているけれども物の値段や水光熱費が高くなっていくので無理」「今月は医療費が発生しなかったがいつ病気になるかわからない」という声がありました。大阪労連では昨年約1万人の協力を得て必要生計費試算調査を行いました。25歳の必要生計費は月額1633円、月額24万円が必要と出ました。私の赤字額6万円というのは、この最賃17万2409円にプラスするとだいたいびつたりします。身をもって

「安心して働きたい」 15人が加入し組合結成へ



福保労・こばと会分会吹田保育園班
吹田保育園は公立保育園が経過しました。当時は育園からこ 民営化された中で、保育の内容・保護者との関係・職員集団など、みんな色々な課題に向き合うことに比重が大きく、運動や組合活動にまだ結びつくまでにはなかなかたどり着きませんでした。新人職員だけでなく、公立の元職員や色々な職場での経験者が集まる中、初めて労働組合を知る職員も多くいます。

そんな中で、こばと会分会や同じ民営化された同法人の南保育園班の組合員にも協力を仰ぎながら、準備会を立ち上げました。そして、6月7日に吹田保育園班結成集会を開催し、理事側に組合結成通知を提出しました。経験のない組合運動に不安や戸惑う気持ちも大きいと思いますが、まずは組合員みんなで安心して働きたい、組合活動について考え学びながら一歩ずつ歩みだしていきたいと思います。



府高教 ワークスクール 出前授業・デモ講義を開催

6月25日、府高教は民法協と共同して弁護士による労働法のワークスクール出前授業のデモ講義を開催。参加者からも積極的に質問が出され、充実した内容になりました。「テンポよく分かりやすく良かった」「授業でも活用したい」と声が寄せられました。



核兵器をなくそう！
今年も、6月30日から7月7日まで平和行進が大阪へやってきました。府内行進や自治体要請が取りまとめられ、暑い日が続きましたが、参加者は元気に進んで兵庫へつなげました。



郵政ユニオンに加入して
職場を変えよう
7月20日、郵政ユニオンは泉大津郵便局前で「郵政ユニオンに加入して職場を変えよう」と仲間づくり宣伝を実施。地域や単産など22人が参加しました。後日、組合へ職場から「勇気がもたらした」「励みになった」などの声が寄せられました。



三四労の会第19回
学習交流会総会を開催
「三四労の会」は7月31日、第19回学習交流会・総会を開催。民法協の西川事務局長を講師に「どうなる私たちの働き方～働き方・未来は」をテーマに学習し、総会では「組織を越えた交流を大切に、お互いの運動に活かしていこう」と確認しました。



大阪に
カジノはいらない！
大阪府と大阪市はカジノを含むIR建設計画を国に提出。今後、国が認定審査を進めます。また、住民投票を求める署名が20万筆以上集まり、府議会に提出されましたが、7月29日に開催された臨時府議会で維新の会などの反対で否決されました。

カジノに反対する大阪連絡会では「住民の合意が得られないままカジノを含むIR建設計画を承認されることは反対」として宣伝や府民との対話など、カジノ誘致断念に追い込む幅広い運動を呼びかけています。また、国に向けて大阪の力

国労大阪会館
研修・学習会などにご利用ください
JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ
◆身障者用昇降機設置
お申し込みは ☎06(6354)0661
〒530-0034 大阪市北区錦町 2-2

人間の尊厳を合言葉に 政治を変える

参議院選挙後の運動と課題

7月19日、エルおおさかで総がかり実行委員会主催の情勢討論集会がありました。富田宏治さん(関西学院大学教授)が「選挙結果をどうとらえるか」参議院選挙後の運動と課題」と題して講演しました。

まず、貧困と格差の拡大によって人々が分断され、政治的に不安定な状況にある。つまり安倍元首相への銃撃にみられるように、何が起ころうとも不思議ではない状況。そして分断は熟議、つまり話し合いによって解決するという価値を否定する。熟議の前提がなければ、真実を語る必要もなく、ウンがはびこる。こうした下で行われる選挙では、国民が「投票によって変えられる」という希望をもてるかが、ポイントになってくる。このような内容のお話でした。

希望を失っている、棄権している人にとりやって投票に行ってもらおうか。投票によって政治を変えることができる。そう思うてもらうための対話の重要性。そのことを改めて感じた講演でした。



この大阪労連の行った試算調査は高すぎるということではなく、普通に暮らすのに必要な額であると実感します。最賃が全国一律ではないため一番高いところと低いところの差は2000円以上、月額で3万4000円以上の差となり、高い地域に労働者が偏っても無理はありません。やっぱり全国どこでも一律で1500円以上の最低賃金であるべきです」と力強く訴えました。

この行動に先立ち、大阪労働局へ「最低賃金大幅引上げを求め」157通の意見書と「大阪府の最低賃金の大幅引き上げを！全国一律最低賃金制度の創設と、時間給1500円を求めめる要請署名」団体502筆、個人8352筆を提出しています。

8月4日の最低賃金審議会総会で答申が出される予定ですが、大阪労連では、引き続き「最低賃金大幅引上げで誰もが生活出来る賃金を」をめざして運動を進めていきます。